どんぐりの森通信　第24号　2013年12月

『平岡どんぐりの森』は札幌市の平岡・上野幌周辺をフィールドに、自然観察会や生きもの調査など地域の自然に親しむ活動をしているグループです。平岡公園の湿地や池、東部緑地の林や大曲川の水辺、アオサギが営巣するイオンの森など、身近に残っている豊かな自然を楽しみながら、地域の自然環境を見守る目を増やしていきたいと願っています。

今年もそろそろ1年を振り返る季節になりました。昨冬の厳寒と大雪の教訓から、早めの冬仕度を心がけた方も多いでしょう。森の木々はすっかり葉を落とし、夏鳥たちは南へ旅立って行きました。今年はナナカマドの実が豊作なので、久しぶりにキレンジャクの大群が姿を見せてくれるかも、と楽しみです。

この1年の活動にご参加、ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。感謝と共に2013年度春から秋の活動をまとめた『どんぐりの森通信第24号』をお届けします。

特集　◆◆　ながぐつの土曜日　◆◆

平岡公園管理事務所との共催で、毎月第3土曜日に開催している自然観察会です。小学生の親子を中心に、平岡公園内を歩きながら見つけた虫や魚、木の実や草花など「これは何だろう？」「何を食べているのかな？」「どこに住んでいるのかな？」等、さまざまな疑問から話が広がっていきます。自然豊かな平岡公園、初めて見る虫や思いがけない植物、うれしい発見がきっとありますよ。昆虫やクモ、カエル、魚など生きものが大好きな酪農学園大学の学生さん達も毎回参加しますから、何でも聞いて下さい！

4月20日（土）　飛びだせ！春のたんけんたい（参加者105名）

春一番のながぐつの土曜日、お楽しみは何と言っても**エゾアカガエル**の卵です。木道の上から見ると、手が届くところにこんもりと盛り上がった産みたて（？）の卵塊があちこちに。そっとすくってバケツに入れ、水で冷やした手で触ってみました。おっかなびっくりの子も、ぷりぷりした手触りに思わず笑顔がこぼれます。人工湿地では120個もの卵塊が見つかりました。成熟したメス1匹が1個の卵塊を産卵するので、卵塊の数から公園内の**エゾアカガエル**の生息数が推定できます。

園内にはあちこちに雪溶けの水たまりができて長靴が泥んこになりますが、子供たちはそれも楽しそう。まだ風が冷たい湿地では、**エゾノリュウキンカ**や**ミズバショウ**の花も咲き始めていました。

5月18日（土）　若葉の森たんけんたい（参加者56名）

先月見た**エゾアカガエル**の卵はほとんどオタマジャクシになっていて、湿地では**トノサマガエル**の産卵が最盛期です。大型で強そうな**トノサマガエル**、人の手で北海道に持ち込まれた生きものですが、このまま増えていっては生態系への影響が心配です。そんな話も子どもたちは真剣に聞いていました。明るい春の日差しの下、**キタコブシ**の白い花や**イタヤカエデ**の黄色い花が見ごろでした。

6月15日（土）トンボとチョウのたんけんたい（参加者18名）

雨にもめげず集まった元気な子供たちと出発！久しぶりの雨に濡れた緑が濃く、**エゾマイマイ**がたくさん出てきたり、雨ならではの森の景色です。雨がやむと**モイワサナエ**や**オオカワトンボ**、**イトトンボ**などのトンボやチョウも飛び始め、**エゾハルゼミ**も一斉に鳴きだしました。

７月２０日（土）川のたんけんたい（参加者４４名）

夏休み直前の『ながぐつの土曜日』は、小川の生きもの探しです。青空の下、気温も上がって川遊びに最適の日になりました。たも網とバケツを手に、園内を流れる三里川支流に出発。じゃぶじゃぶと水に入って小1時間、**フクドジョウ**、**スナヤツメ**、**イバラトミヨ**などの魚の他、たくさんの**オニヤンマ**のヤゴ、**カワニナ**、**スジエビ**、**ガガンボ**の幼虫などが見つかりました。上流湿地では**オニヤンマ**がちょうど羽化する場面にも出会いました。残念ながら、今年はいつもより数が少ないようです。

8月 17 日(土)平岡公園にぎわいフェスタ　(参加者　101名)

夏休みの一日、ながぐつの土曜日スペシャル版として酪農大学の学生さん、公園管理事務所と共催の恒例イベントです。森を歩きながらのスタンプラリー、東屋では**アメリカザリガニ**釣りや**トノサマガエル**など外来種のカエルの展示、最後に川の生きもの調べと盛りだくさんのプログラムです。サケ科学館の方の解説もあり、今年もたくさんの参加者と楽しく学ぶ時間を過ごしました。

9月 21 日(土)　はらっぱたんけんたい　(参加者31名)

今日は虫の先生・問田さんが参加してくれて、原っぱや湿地でバッタ・トンボ・チョウを探しました。原っぱでは、一列に並んで同じ方向に歩いて草むらの虫を追い立てます。最初は伸び放題の茂みに分け入るのをためらう子もいますが、あちこちで飛び跳ねる虫にすぐ夢中になりました。人気を集めたのは**ミカドフキバッタ**や**カンタン**、湿地では**オオルリボシヤンマ**に**アオイトトンボ**。**スジグロシロチョウ**や**ベニスズメ**、**ヒョウモンチョウ**の仲間も見つけました。捕虫網さばきが堂に入る子もいて、大人も感心。

10月19日(土)もみじの森たんけんたい(参加者56名)

秋晴れの気持ち良い日です。豊作の**ヤマブドウ**に始まって、**ホオノキ**と**キタコブシ**の赤い実、**ナツハゼ**の黒い実、残り少なくなった**ルリミノウシゴロシ（サワフタギ）**の青い実と、秋の実りを確かめながら歩きました。赤とんぼ（**アキアカネ**）が秋の風に乗ってたくさん飛んでいました。

＊＊＊　2013年の活動日誌から　＊＊＊

◆　ツリーウオッチング　◆

毎月第3水曜日10時から、樹木を中心に四季の移り変わりを見る観察会を行っています。平岡公園は梅園で有名ですが、広い公園内にはドングリの成る**コナラ**、**ミズナラ**をはじめ、黄葉の**エゾイタヤ**や**ベニイタヤ**、大きな**ハリギリ**、**ホオノキ**などたくさんの種類の樹木があります。春の芽ぶきから始まって開花、結実、紅葉、そして冬芽の形成と、樹木の1年を定点観測していきます。林床に咲く花や森を訪れる鳥たちにも目を向けながら、園内を隅々まで歩く観察会です。ご自由にご参加下さい。

◆水辺の生きものを見守ろう　◆

札幌新道延長工事の進行に伴って、予定地周辺に生息する希少な水辺の生きものや植物を保護するために、安全な場所に移動させたり新たな生息環境を整備する活動を、札幌市と協力して続けています。昨年秋に**エゾホトケドジョウ**を造成池に移したので、今年春から夏にかけて越冬と繁殖（稚魚）の確認をしました。しかし、8月の調査では造成池の**エゾホトケドジョウ**は見つからず、大雨で下流に流された可能性があります。捕獲による一時的な保護と共に、造成池の改良や増水時に魚が隠れるような植生を造る等の対策が今後の課題になっています。**ニホンザリガニ**や**エゾサンショウウオ**の状況も継続して見守っていきたいと思います